

8-4-21 無電柱化WG

1. 主な活動の記録

(1) 無電柱化 WG の開催

WG 開催回数：2 回（10 月、2 月）

委員への意見照会：2 回（10 月、2 月）

(2) 活動報告

a) 令和 2 年度無電柱化推進技術検討会への参加

平成 28 年 12 月の無電柱化推進法施行を背景に、無電柱化のより一層の推進に向け、様々な技術的課題について産官学での連携・検討が求められるなか、国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により、令和 2 年度より設立された無電柱化推進技術検討会への参加、および低コスト化や事業のスピードアップにおける課題の抽出、検討を行った。

無電柱化推進技術検討会は、学識者の他、電力、通信、民間、UR 都市機構、コンサルの代表者で構成され、検討結果はコンサル WG として報告した。

・無電柱化推進技術検討会：2 回（9 月、12 月）

b) 無電柱化 WG 活動

無電柱化の低コスト化において、「道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き(案)Ver. 2」の発出後の実設計初年度における課題・問題点等について委員ヒアリングを実施・取りまとめた。また、無電柱化事業のスピードアップにおいて、国から示されている包括発注案に対する委員ヒアリングを実施し、その問題点と代替案を検討した。上記、検討・整理した資料は、無電柱化推進技術検討会へ提出・報告した。

その他、民間 WG からの新技術に関する意見照会への回答、日本工業新聞社の特集号への取材対応を行なった。

c) 令和 2 年度 面整備事業における

無電柱化推進 WG への参加

官または民で行なわれる面的整備事業における無電柱化推進を目的に令和 2 年度に無電柱化推進技術検討会の下部に面整備事業における無

電柱化推進 WG が設立され、国土交通省都市局市街地整備課の要請により、当 WG へ参加した。WG では面整備事業における効率的・効果的な無電柱化推進方策について議論され、地方自治体向けのガイドライン策定を目指す。

・面整備事業における無電柱化 WG

: 3 回（10 月～3 月）

d) 活動成果

今年度は、新たに設立された「無電柱化推進技術検討会」において、これまで取り組んできた低コスト化に加え、無電柱化事業のスピードアップについて、設計コンサルのこれまでのノウハウ・経験を活かし、現状の課題の洗い出し、解消に向けた提案を検討し、設計者の立場から、実現に向けた積極的な意見を提示した。

また、面整備事業における無電柱化推進 WG においても、無電柱化の拡充に向け、設計経験を踏まえた意見を積極的に出し、ガイドライン策定へのプロセスの一端を担った。

2. 次年度の活動について

新たな枠組みのなかで、引き続き無電柱化推進に向け活動を継続実施するとともに、全国のモデルケース地区や地方公共団体への技術的アドバイザー等を行う。

（無電柱化WG WG長 沼田 和宏）